

# 新年のごあいさつ

日光市長 齋藤文夫



市民の皆さまに「住んでよかった」、「これからも住み続けたい」と、心から思っていただけのように全力で市政経営に取り組んでまいりました。

平成21年を振り返ってみますと、世界的不況が及ぼす暗い出来事が多い中、全日本野球チームがワールド・ベースボール・クラシックで世界一に輝き、前回大会に続く2連覇の偉業を成し遂げました。このことは、日本国民に大きな感動をもたらし、次なる飛躍への力を与えてくれました。また、当市にとりましても、真の「国際観光文化都市 日光」の創造に向けた飛躍の年でありました。

本市には、年間1、120万人を超える観光客が訪れ、観光産業は当市の主要産業の一つでありますこと

から、4月より新たに観光部を設置し観光産業の振興体制を強化したところであります。

このような中、1月に台湾台南市と、11月には韓国慶州市と観光友好都市の協定を締結いたしました。「観光友好都市」とは、観光に特化し交流や誘客を図るもので、当市の更なる観光振興のため、外国人の観光誘客を目的としたものであります。

観光を軸に互いの伝統と文化を尊重し、姉妹都市と同様に、固い絆で結ばれた交流を進めてまいりたいと考えております。

鬼怒川・川治温泉の観光振興と地域の活性化を目的とした地域再生事業も、おかげさまでもちまして、ほぼ計画どおりに進めることができました。昨年は、滝見公園、川治温泉薬師の湯、鬼怒橋岩大吊橋などが完成いたしました。

企業誘致につきましては、3月1日に(株)ホクガン日光工場、同24日にはキューピー醸造(株)日光工場が、い

ずれも大日光工業団地で操業を開始いたしました。今年も企業誘致活動を積極的にを行い、新たな雇用の創出と財源の確保に努めてまいります。

今年「日光市まちづくり基本条例」施行から3年目を迎えます。この条例は当市におけるまちづくりの最高規範で、その目的を、「心が通う温かい市民自治のまち日光」を創るためとしております。

私は、当市の豊かな自然や貴重な観光資源、文化、伝統はもとより、何より市民の皆さまの郷土を愛する心こそ宝であり、まちづくりの原動力であることを確信いたしております。どうぞ市民の皆さまには、お一人お一人がまちづくりの主人公となられ、行政との協働による「心が通う温かい市民自治のまち日光」の創造に向け、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。



## 平成21年 日光市の主な出来事

皆さんにとって平成21年はどのような年でしたか。ここでは、日光市の主な出来事を写真で振り返ります。

### 主な出来事

- 1月11日 各地域で成人式を開催
- 16日 台南市(台湾)と観光友好都市を締結(①)
- 2月11日 花市
- 2月24日 キューピー醸造(株)日光工場が完成(大日光轟工業団地内)
- 4月1日 組織機構改革により観光部を新設
- 1日 特定行政庁スタート
- 19日 川治温泉「薬師の湯」がリニューアルオープン
- 5月3日 足尾まつり
- 7日 大沢地区センターがオープン(②)
- 19日 日台親善交流会(高校生)
- 30日・31日 女子ホッケー日本リーグ
- 6月6日・7日 平家大祭
- 7月19日 鬼怒橋岩大吊橋竣工(③)
- 25日・27日 龍王祭
- 8月1日 日光夏の花火
- 2日 日光杉並木マラソン大会
- 8日 日光和楽踊り
- 25日 シュツツイ 許添財台南市長が来庁
- 9月26日 アジアリーグアイスホッケー日光シリーズ開幕
- 10月1日〜7日 ラピッド市に市民訪問団を派遣
- 10日 日光けっこうフェスティバル・日光秋の花火
- 18日 今市屋台まつり(④)
- 31日〜11月3日 日光そばまつり(第15回日本そば博覧会)
- 11月11日 慶州市(韓国)と観光友好都市を締結(⑤)
- 21日 全国報徳サミット日光市大会
- 23日 市政・教育功労等表彰式
- 12月4日 日光の社寺が世界遺産登録10周年を迎える(⑥)
- 20日 日光市駅伝競走大会
- 24日〜27日 日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会

- ① 齋藤市長が台南市を訪れ、観光友好都市を締結しました。
- ② 大沢地区センターは、支所・公民館・体育館の複合施設です。
- ③ 鬼怒橋岩大吊橋は鬼怒川温泉の新名所となりました。
- ④ 今市地域の8台の屋台が繰り出し、今市屋台まつりが初めて開催されました。
- ⑤ 白相承慶州市長を日光市に迎え、観光友好都市を締結しました。
- ⑥ 登録10周年を記念して、7〜9月と12月に世界遺産ウオークが開催されました。

